

令和7年度 第4回高梁市地域公共交通会議議事録（要旨）

日時：令和8年 2月16日（月）14：00～

場所：高梁市図書館 4階多目的室

- 資料：
- ・会議次第、高梁市地域公共交通会議委員名簿
 - ・道路運送法第79条による自家用有償旅客運送の変更登録について（新規追加）
 - ・高梁市地域公共交通計画に基づく今後の予定について
 - ・利便増進実施計画に対する重点的な支援
 - ・成羽地域公共交通再編に向けた実証運行計画（案）
 - ・高梁市地域公共交通利便増進実施計画（素案）
 - ・今後のスケジュール（予定）
 - ・高梁市地域公共交通利便増進実施計画（素案）に係る意見



1. 開 会

会議成立報告

2. 委員の選任について

黒川委員が副会長に選任

3. 会長挨拶

4. 会議

議事1：道路運送法第79条による自家用有償旅客運送の変更登録について

（1）交通空白地有償運送

会 長：本件につきましてご質問、ご意見をお願いいたします。

委 員：有償になるのはいつからか、また支払い方法については現金のみかキャッシュレス決済も想定されているのか教えてください。

事務局：現在条例の制定を進めています。3月議会で議決後、観光協会との協議を経て5月1日を予定していますが、調整次第では後ろ倒しする可能性もあります。料金の徴収についても観光協会と調整しており、観光協会が駐車場料金と合わせて徴収することを想定しています。チケットを購入しドライバーに提示する形を想定しているので、キャッシュレス決済は想定していません。

専門員：障がい者手帳をお持ちの方も通常料金とするのか。片道という認識でよろしいでしょうか。

事務局：減免は今のところ考えていません。料金を支払えば吹屋ふるさと村線、吹屋広兼邸線共に利用し観光駐車場に戻ることができます。

委 員：運行距離と走行時間はどれくらいになりますか。また、安全面について期間中問題は無かったのでしょうか。

事務局：下町から広兼邸までは片道約15分、周遊コースは一周20～30分程度です。事故は3年間で路肩に軽く接触したものが2回で、人身事故はありません。町中は時速5km/h程度でゆっくり走行し、タイヤに鈴を付けて車が来ていることを知らせる工夫をしております。

委員：地元で消費が落ちるような取り組みはありますか。

事務局：運行に対するご協力が必要であり、地域へ還元できるよう検討したい。

委員：乗車中に観光案内等がありますか。

事務局：ドライバーがガイド育成にも参加しており、吹屋の歴史等を独自に勉強して観光客の方にご案内しております。

委員：観光とセットになれば500円ではなく1,000円でも販売できるのではないかと思いますので、ぜひそういう方向で進めていただければと思います。

委員：500円で乗り放題と考えていいのでしょうか。また、有償化した場合に利用者数はどのくらいになると予測されていますか。この事業の目的は観光なのかバリアフリーなのか教えてください。

事務局：途中で下車して次の便に乗ることも可能です。有償化後は現在の利用者の6～7割程度、約5,000人の利用を想定しており、委託料である300万円程度の収入を見込んでいます。目的は観光と高齢者の移動支援等の2つの目的を持って運行しています。

委員：地元の方が観光案内をすることは魅力的なコンテンツだと思います。目的がどちらかによって金額は色々設定ができます。

事務局：メインとしては観光となります。

委員：観光していても傾斜もあるし疲れる。高齢の方もいるので途中で購入希望の人もいるのではないのでしょうか。

事務局：駐車場だけでなく、吹屋小学校など街中でチケットを購入することもできます。

会長：他にご意見が無いようでしたら、道路運送法第79条による自家用有償旅客運送の変更登録についてご承認いただけます方は拍手をお願いいたします。

<拍手多数により承認>

議事2：成羽地域公共交通再編に向けた実証運行計画（案）について

（高梁市地域公共交通利便増進実施計画（素案）について）

会長：ご質問やご意見をお願いいたします。

委員：宇治線はスクールバスに切り替えればよいのではないのでしょうか。定時定路線で残す意味はありますか。前日予約だと帰りの便の時間が分からないので、帰りの予約ができないのではないかと思います。当日、1時間前の予約でいいのではないのでしょうか。また、生活福祉バスが前日予約になると不便になるのではないのでしょうか。

事務局：宇治線は一般利用もまれにあるため生活福祉バスとして残したいと考えております。乗合タクシーに関しては利用者の多くは通院・買い物で時間が決まっており、半年程度で予約パターンが見えてくると事業者の確認をとっており、前日予約でも問題ないと考えています。料金については、特定少数へ向けたサービスとして確立したいと思っています。生活福祉バスは週2日程度の運行でしたが、平日5日間に拡充されるため利便性は向上すると考えております。

委員：前日予約だとその日の状況によって行動することが難しくなるのではないかと思います。前日予約にすることでコールセンターが不要になる点は理解できるが、運行事業者の状況でより効率的な利用ができない場合があるのではないかと思います。

事務局：あくまでも実証運行となるため、期間中に〇〇委員が懸念する意見が出た場合には改善していきたいと思います。住民も普段利用しているタクシー会社があるようです。実証運行ですので住民の皆様が利用しやすい形にしていき、本格運行に向かっていきたいと思っています。

委員：このような運行方法は日本中で過去実施され様々な結果が出ているのに、なぜこのような運行を行うのでしょうか。

事務局：現在検討している運行内容より利便性の高いものはあると思いますが、成羽地域の現状を考えた結果で、今よりも利便性は向上すると思います。よりよいものとなるよう引き続き検討していきたい。

委員：松原地区では〇〇委員が言われるように、行きは一緒の時間に出発するが帰りは時間がずれるにもかかわらず全員が終わるのを待っているため、人間関係にも影響が出ている。地域の方としっかり話をして把握した上で実証運行を実施して欲しい。

事務局：松原地区は運行時刻が決まっているデマンド運行だったので、待ち時間は発生していたと思います。実証運行では事前の予約とはなるが融通が利くようにしていきたいと思っています。

委員：その点をしっかりと説明しなければ誤解を招くことになる。

事務局：地域や事業者にも確認しつつ、制度に反映していきたい。

専門員：行きと帰りで別の人と乗り合うことや、ルートの途中で下車することは可能ですか。

事務局：問題ありません。事業者の裁量で乗合とするか、そうでないかを状況次第で判断してもらう形となります。

委員：安全面での質問ですが、積雪や大雨、倒木で運行できない場合はどうするのか。行き便は運行し目的地へ行った後、大雨等で帰り便が運行できない場合はどうするのか。誰がどのように判断するのでしょうか。

事務局：予約に際しては事前登録を行うため、緊急連絡先は確認できます。連絡が取り合える状況は整えていくことを想定しています。

委員：100名程度の登録者を見込んでいるとのことだが、車両の台数は何台を想定していますか。成羽市街地の利用は一般タクシーの利用を推進するという説明だったが、タクシー施策でタクシー助成も行っているという認識です。そのあたりの整理はどのようになっていますか。

事務局：市所有のハイエース型2台と事業者の車両を可能な限り利用する想定です。落合町福地地区と成羽町日名地区のタクシーチケット助成は、乗合タクシー導入に伴い廃止予定です。

専門員：利便増進実施計画は補助金のためだけでなく、高梁市地域公共交通計画を公共交通のマスタープランとして実行するための実施計画です。利用者の利便性の観点で議論が必要です。別の地域公共交通会議の際に、運行日が月曜日から金曜日だと土日のイベント参加ができないという意見もありました。今後運行曜日・ダイヤ・エリアを議論して行ってほしい。

委員：高梁市地域公共交通計画には一律料金から距離制運賃への変更、という記載がありますが、一律800円となると矛盾しているわけではないのですか。

事務局：内部協議を経て、距離制運賃から変更しました。距離制にすると交通事業者の負担が増えますが、ただ価格が低すぎると財政的な負担も増えるため、現在の路線バス料金の市内最高額800円に合わせ一律料金としています。

委員：成羽地区での数値目標は設定されますか。後続の地区の実証をするかどうかの判断基準等含めて目標値や基準がありますか。

事務局：利用登録者として100名を見込んでおり、年間約1,900名の利用を想定したいと考えています。

会長：他にご質問が無いようでしたら、成羽地域公共交通再編に向けた実証運行計画（案）について、ご承認いただけます方は拍手をお願いいたします。

＜拍手多数により承認＞

5. その他

- 岡山県地域公共交通ビジョンについて

＜質問なし＞

- 今後のスケジュールについて

＜質問なし＞

6. 閉 会

黒川副会長閉会挨拶

以上